

令和7年清風学園行事の始まりです！ 謹賀新年

1月1日 拝賀式

2025年1月1日(水) 清風学園にて恒例の拝賀式が執り行われました。多くの在校生に加え、たくさんの卒業生も参列しておりました。こうして毎年欠かさず開催される行事は、卒業生が集まる絶好の機会になっているようです。帰省の際には、ぜひ顔を出してみてはいかがでしょうか。校長先生のお話を聞けて清々しい気持ちで新年をスタートできました。



1月14日 修正会結願『どやどや』



2025年1月14日(火)は四天王寺修正会結願『どやどや』に参加いたしました。学生時代に参加した皆様にとっては懐かしの行事の一つではないでしょうか。当日は雲の多い時間帯もありましたが晴れ間ものぞき、行事日和となりました。気温は10度を下回っており厳しい寒さでしたが、そんな中で頑張る在校生たちの活気に元気をもらいました。今年も行事の様子を精一杯お届けいたします。お楽しみに。

Relay Talk 4

「ホッとする瞬間」

第4回ゲスト



澤 賢一 先生 担当：体育
澤先生より「ホッとする瞬間」というテーマでご寄稿いただきました。今回のテーマは「ストレス解消法」です。バトンを受け取った方の寄稿をお楽しみに。

リレートークとは、先生方や事務員の方などさまざまな清風学園を支える皆様によりテーマに沿った寄稿をしていただき、次の寄稿者を紹介、リレーを繋ぐ企画です。



先輩から後輩へ 卒業後も受け継がれる志



現在、食堂とフードコートを利用して「休日勉強会」を開室しています。始まったきっかけは2001年に京都大学理学部と京都府立医科大学医学部に進学した卒業生が学校への恩返しの意味で「母校の後輩を教えることはできませんか」という思いを相談してきたことでした。はじめは、私の担任をしていた高3の理系クラスと新体操部員中心でしたが、現在は中学から高校まですべての生徒対象に行っています。日曜、祭日そして本校の長期休暇に毎回8名前後の本校卒業の難関大学生が来校して後輩の学習サポートをしてくれています。休日に先輩が母校の

後輩をサポートしている姿を見るとなんとも微笑しく私の心がホッとする瞬間です。現在50名を超える志を持った卒業生がローテーションで来てくれています。中間試験及び期末試験前には100名前後の生徒が利用されています。このような志を持った卒業生と在校生のつながりを大切に、この取り組みが継続していくことを願っています。

Interview 情報技術教育の最先端

清風から未来の京へ

清風学園では、コンピューターに興味を持つ生徒に向けて特別課外授業を開講しています。講師は富士通、理化学研究所（理研）を経て、2017年清風学園の常勤顧問に就任した井上愛一郎氏。富士通勤務時代にはスーパーコンピューター「京」の開発を手掛けたハイレベルエンジニア。豊かな経験と知識をハード、ソフトの両面で未来を担う生徒たちに伝授しています。井上氏に講義の様子などを伺いました。



井上 愛一郎氏

— 清風で情報技術（IT）の講義をするようになったきっかけを教えてください。

富士通や理研時代から感じていたことですが、これだけIT技術が進んでいながら、コンピューターの心臓部であるCPUの動作について関心を持たれていないことが非常に気掛かりでした。私はコンピューターの基本的な構造を理解していなければ、革新的なアイデアは生み出せないと考えています。教育段階からそのことを教えていかなければ日本の産業全体が駄目になっていくのではと思っていたとき、平岡弘章副校長とお会いする機会を得、お話し

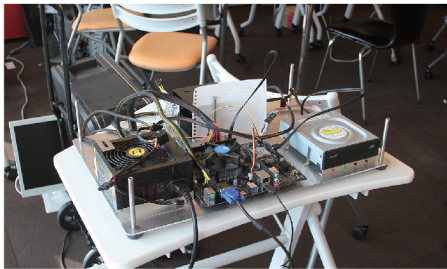
をしたらぜひということになり、教育現場に立つこととなりました。現在は特別課外授業として希望者のみが土曜日の昼から集まり、ハード、ソフトの両面を基礎から学んでいます。

— 講義の内容は具体的にどのようなものですか。

最初は生徒たちにCPUの働きを知ってもらおうと、彼ら自身がコンピューターの一部となって動作を模擬するような学習をしました。教室の床に回路図を引いて、生徒たちが情報を持ち歩いて渡す、まさに「人間コンピューター」です。清風に来た当時

は今話題のChatGPTのように盛り上がりはしていませんでしたが、生徒に何に興味があるのが尋ねたらやはりAIでした。教えるからには私自身も根本をきちんと押さえようと思い、AIで最も使われているプログラミング言語「Python」を使ってゼロからAIを作り始めました。そうすると、フレームワークみたいなものが欲しくなり、「ufiesia(ウフィーシア)」というフレームワークを開発しました。反対から読むと「AI清風」になります。「ufiesia」を使うとニューラルネットワーク（人間の脳の仕組みをコンピューター上で表現するために作られた数学モデル）の機械学習やディープラーニングが簡単にできるようになります。

生徒にも個々のパソコンに「Python」で環境作りをさせて、プログラムを作り、格納し、実行するまでをやってもらいます。学年の壁を超えて生徒間で教え合うこともあります。教える側に回ると力が付きますね。フェイク動画などを作成するなどプログラミングスキルが高い生徒も居て将来が楽しみです。



△ 生徒たち自身がパソコンを組み立てて基礎を学んでいる

難関突破する基礎的な力

— 情報の授業でもプログラミングを学びますが、講義と違う点はありますか。

情報の試験はもろにプログラミングでデータサイエンスの分野。AIもこれから入ってくるでしょう。できることならPythonでのプログラミング授業や、基礎の部分を教える授業に内容が変わってほしいなと思っています。今は数学から行列の科目が無くなってしまいました。AIもシミュレーションも、経済学だって行列計算するのに、どうして無くなったのか不思議です。行列計算とAI、経済、物理、化学などの分野が合体したときに素晴らしい物が出来上がります。

私が教えられるのは些細なことですが、『電気回路』と『行列計算』、AIの前に必要だと思われる『線形回帰』や『ニューラルネットワーク』について基礎から学べる本を執筆し、講座のテキストとし

て使っています。特に『電気回路』はシミュレーションプログラムの中で基本となる一番簡単な原理です。ぜひ理解を深めておいてほしい項目です。

— 今はAIというとChatGPTというくらい人気ですね。

中高生に現段階で学んでほしいことは、ChatGPTでプログラムを作るのもいいけれど、それは大人になってからやればいいことで、その前にきちんと基本を学んでおいて、その上でChatGPTが出してくれるものを自分で組み合わせることができるようなになれば、きっと強い力が付くと思います。ChatGPTに頼れば簡単にさまざまなことができる時代ではありますが、簡単と言いながらもちょっと



△ 講義で使用するため内部構造が見えやすく工夫されている

したツボがあるというか、使いこなせない場面が出てきます。その難関を突破するには、基礎的な力を持っているかどうか物が言うと思います。簡単な事ではありませんが、将来社会に役立つようなしっかりとした知識を学んで自分のものにしてもらいたいですね。

- Information -

清風岩峯会の活動は公式HPまたは各種SNSで発信しています。



清風岩峯会公式 LINE

イベントのお知らせや公式HP更新情報など様々な情報をいち早くお届けします！



Facebook

イベントの様子などを詳しくお届けします！
@seifu.tohokai



Instagram

イベントの様子など、写真を中心にアップ！
@seifutohokai